

平成28年熊本地震で被災された皆さまには  
心よりお見舞い申し上げます。  
被災地の1日でも早い復興を心よりお祈り申し上げます。



4月14日21時26分、熊本地方を震央とした余震をきっかけに、28時間後の4月16日1時25分には最大震度7を観測する大地震が発生し、多くの方が被災されました。大学事務局は、各学部と連携し、在校生とその熊本地域にお住いの保護者の方々や卒業生の安否確認を行っていた最中、熊本県出身である鍼灸学部4年外山雄一郎さんが事務局を訪れ、「熊本のためにできることがしたい。みんなと共に、募金活動をしたい。」との申し出がありました。外山さんは「私の実家が熊本で、京都に下宿をしている自分に何ができるか考えました。大学の友人に熊本のために募金をしたいと伝え

ると、皆快く賛同してくれ、学内での募金活動を行うことができました。共に活動してくれた友人、募金協力をいただいた多くの皆さまにご支援をいただくことができ、総額34,605円が集まりました。集まりました全額を日本赤十字社へ義援金として寄付することができ、微力ながらも被災地へ協力が出来たかと思えます。皆さまからの心温まるご支援に心より感謝しています。」今回、募金活動をしたいと申し出たものの、授業や実習により活動に参加できなかった学生も多数おりましたが、学生の被災地に寄せる思いに大学としても共感し、誇りに思いました。

ご案内

「第39回たには祭」が開催されます

来る10月15日(土)、16日(日)に、恒例行事「第39回たには祭」が開催されます。現在、実行委員長の保健医療学部2年山田涼太さんを中心に、例年以上に盛り上がる学園祭となるよう準備を進めています。保護者の皆さまや、地域住民の方々にも楽しんでいただける毎年好評のイベントや、今年ならではのイベントも計画していますので、多数のお越しをお待ちしております。



Schedule

<p><b>9</b> September</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ビジネスマナー講習会</li> <li>● 卒業生講演「看護学部3年」(23日)</li> <li>● ミニオープンキャンパス柔道セミナー(18日)</li> </ul>	<p><b>10</b> October</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 創立記念日(3日)</li> <li>● 京都学生祭典(9日)</li> <li>● たには祭(15・16日)</li> <li>● 就職相談会(23日)</li> <li>● ミニオープンキャンパス(2・30日)</li> </ul>	<p><b>11</b> November</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本柔道整骨医学会学術大会(19・20日)</li> </ul>	<p><b>12</b> December</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ミニオープンキャンパス(18日)</li> <li>● 全学横断的シンポジウム</li> <li>● 冬期休暇</li> </ul>	<p><b>1</b> January</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冬期休暇</li> <li>● 学年末試験</li> </ul>	<p><b>2</b> February</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● はり師・きゆう師国家試験</li> <li>● 看護師・保健師・助産師国家試験</li> </ul>	<p><b>3</b> March</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学内研究助成成果発表会</li> <li>● 全学研究ポスターワークショップ</li> <li>● 柔道整復師国家試験</li> <li>● 卒業式・卒業記念パーティー(17日)</li> </ul>
--	--	---	---	---	--	---



明治国際医療大学

鍼灸学部[鍼灸学科] \* 保健医療学部[柔道整復学科] \* 看護学部[看護学科] \* 大学院[鍼灸学研究科]  
〒629-0392 京都府南丹市日吉町 TEL 0771-72-1183 FAX 0771-72-1189  
E-mail gakusei-shien@mst.meiji-u.ac.jp



財団法人日本高等教育評価機構より  
大学評価基準を  
満たしていると認定  
されました。

明治国際医療大学だより

Meiji University of Integrative Medicine News Letter Vol.13

大学情報誌



現在2号館の施設改修工事を実施しております

本学では平成29年4月に保健医療学部救急救命学科を設置することに伴い、平成28年6月1日から平成29年3月25日までの間2号館の施設改修工事を実施しております。この改修工事により、既存の教室や実習室の充実及び新たな教室の整備、エレベータの新規設置など、2号館の各教室や実習室、図書館を利用される学生の皆さんにとって教育環境が改善されます。

※平成29年4月開設  
**保健医療学部 救急救命学科** 入学定員:50人 初年度学費:160万円(入学金20万円含む)

## スポーツ振興プロジェクト

# トップアスリート+医療人の輩出へ向けて、着々と!

平成27年にスタートしたスポーツ振興プロジェクトは、それぞれのクラブ活動における各種大会でその成果を積み始め、さらなる飛躍を予感させるプロジェクトとなりました。各クラブの活躍を広く周知するために、10号館1階メディカルフュージョンラウンジに展示ガラスケースを設置し、その栄冠を展示しております。

陸上競技部 (男子・女子)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■第72回全日本医歯獣医大学対抗陸上競技選手権大会 2015/8/28-29 [男子] 総合優勝 フィールド1位 [女子] 総合2位 トラック3位 フィールド1位</li> <li>■第80回京都学生陸上競技対抗選手権大会 2016/4/8-9 [女子] ハンマー投 優勝: 濱口美菜</li> <li>■第31回関西医科学生対校陸上競技選手権大会 2016/5/29 [男子] 総合優勝 [女子] 総合2位 [個人] 大会新記録で優勝する選手が続出、2位・3位入賞者多数</li> <li>■第71回京都陸上競技選手権大会 2016/7/16-17 [男子] 砲丸投 優勝: 仲西隆世 [女子] ハンマー投 第2位: 濱口美菜</li> </ul>
女子剣道部	平成28年度 春季関西医歯薬学生剣道大会 [女子団体戦] best8 [女子個人戦] 準優勝: 野中美玖、第3位: 田崎恵理
女子サッカー部	平成28年度 関西学生女子サッカー連盟 春季リーグ2部 第3位
バレーボール部	[男子] 関西大学バレーボール連盟 4部 [女子] 関西大学バレーボール連盟 4部
柔道部	平成28年度 第66回関西学生柔道優勝大会 (男子2部) 優勝



トップアスリートを生み出し、大学の顔として活躍してもらい、認知度を上げ、広く本学の取り組みを知っていただくのがプロジェクト創設の趣旨。

スポーツ振興プロジェクトリーダー 安田 賢司



## 鍼灸学部2年下村純也さんへ 南丹警察署長より感謝状が贈呈されました

平成28年5月9日の深夜、南丹市園部町の路上において頭部を負傷した高齢女性を発見した下村君は、警察へ通報や適切な措置を講じ、負傷者の救護に当たったことが評価され、5月17日(火)に南丹警察署にて感謝状が贈呈されました。今回の件について、下村君は「一人の人間として、また将来医療に携わる医療人として、困っている人に対して助け合う事は、大切なことだと思います。これからも困っている人がいれば、助けられるように日々勉強していきたいと思っています。」と述べ、大学としても彼のような意思を持つ学生を輩出できるよう努めて参ります。

## 地域住民の健康を支える 複合施設が大学前にオープン (ローソン併設)

患者さま個人々に合わせたお薬を提供するために相談室を設けられた薬局、生活・介護用品をより多く取りそろえたコンビニ、いつでも地域の皆さまが寄り合えるコミュニティスペース、そして本学看護学部と附属病院が中心となり運営される「訪問看護ステーション」の4つの機能を備え持つ複合施設「いきいきオアシス日吉」がオープンしました。オープン日である7月15日にはオープニングセレモニーと健康イベントが執り行われ、学生と教員による睡眠や認知症予防、介護相談に応じる「まちの保健室」に、多くの方々に体験いただけました。今後、訪問看護ステーションでの実習が予定され、住民の健康をサポートし、地域の活性化に繋がることが期待されています。



当日の「まちの保健室」での活動の様子は、看護学部のページをご覧ください。



## 戸田准教授が、瑞宝双光章を受章

看護学部の戸田准教授が、平成28年春の叙勲において、瑞宝双光章を受章されました。受章は、5月9日(月)に大阪府公館にて伝達式があり、松井大阪府知事より章を受け取り、5月18日(水)に皇居豊明殿において天皇陛下への拝謁がありました。同准教授は、京都大学医療技術短期大学部を卒業後、京都府立洛南病院を経て、大阪府立精神医療センターにおいて副看護部長として従事し、功績が認められ今回の受章となりました。「長年、医療現場に携わってきましたが、取り組んできたことが認められ大変嬉しく思います。現在は、学生を育てるという違った環境に身を置っていますが、日々の学生への対応や、教育にやりがいを感じております。今回の受章に恥じぬよう、学生指導を心がけて参ります。」と述べられました。



## 4年生へのインタビュー

## 京都駅前鍼灸院での実習を終えて

本学は多くの附属施設を有しており、学生に充実した実習を提供しています。平成27年7月には、明治国際医療大学附属鍼灸センターの分院として「京都駅前鍼灸院」が開院し、今年度から4年生の実習がスタートしました。今回は、院長の片山先生に、京都駅前鍼灸院の特徴と実習の価値をうかがうとともに、見学を終えた4年生の勝野くんインタビューを行いました。

## 特色ある専門外来を備えた鍼灸院

京都駅前鍼灸院は、最新・最先端の鍼灸医療を提供するモデル施設として地の利の良い京都駅前に開設しました。ここでは鍼灸学部の教員が、施術者として鍼灸医学の知識に加え西洋医学の知識も取り入れ診療にあたっています。これまでの研究や教育のキャリアを活かし、臨床分野に貢献したいと考えています。また、大学附属鍼灸センターおよび附属病院、さらに洛西の統合医療センター、イオンモール京都桂川内の京都桂川鍼灸院と連携を図りながら診療を進めています。従来の鍼灸治療は、肩こりや腰痛などが主な治療対象でしたが、専門外来を開設し、より多彩な症状に対応します。具体的には、内科・神経内科系疾患、自律神経疾患、運動器系疾患、スポーツ傷害、耳鳴り、高血圧、冷え、アトピー、便秘異常、健康・予防、ストレスケア、緩和ケア、レディースケア、パーキンソン病、疲れ眼、頻尿・排尿時痛などです。また、癒しの空間としてヒーリング音楽が流れ、希望や症状に応じてアロマ精油を使ったアロマセラピーも無料サービスとして用意しています。



院長 片山憲史

## 京都駅前鍼灸院での実習の価値は

大学の附属鍼灸センターは、多くの学生を受け入れて実習ができるようにベッド27台を用意していますが、京都駅前鍼灸院では、ベッド4台、受付事務は配置せず治療スタッフ2名のみで運営している治療院です。これは、将来、開業する規模に近い大きさであり、診療の準備、前日売上げの入金、掃除、ベッドメイキング、診療相談や予約受付の電話対応、日次締めなど施術以外の業務についても学べます。また、診療の記録はペーパーレスの電子カルテを採用しています。治療の方法は、症状や疾患によって異なります。当院では、西洋医学的病態把握および東洋医学的病態把握に基づいた鍼灸治療、両者を組み合わせた治療を行っており、患者毎に最適と判断したオーダーメイドの治療方法を行っています。このような内容を通して、将来の開業を見据えた実習学生にとって大きな参考になると思います。



## Interview /



京都駅前鍼灸院の見学を終えての感想は？—日吉のキャンパスにある附属鍼灸センターとの最も大きな違いは、鍼灸院の雰囲気でした。高級感の中に落ち着いた空気感があって、患者さんもリラックスしていました。まずは、それが強く印象に残っています。将来、僕は開業することを考えているのですが、一つの理想の形であると感じました。同時に、自分の将来をこれまで以上に強くイメージすることが出来ました。施術としては、患者さんによってはアロマセラピー（芳香浴）を併用するという点に驚きました。これは、患者さんの満足度の向上につながると感じましたし、自分も開業した場合には、導入をしたいと思いました。

理想とする鍼灸師像は？—患者さんの病態を的確に把握し、鍼灸の適応を見極め、その上で満足できる治療を提供できる鍼灸師、それが僕の理想です。患者さんに満足してもらうためには、治療効果はもちろんのこと、治療院の雰囲気や安全で衛生的な施術の提供まで、細かな配慮が必要であると感じています。勉強会などにも積極的に参加し、そこで得た最新の治療法や知識を患者さんに還元していけるような医療人でありたいと思っています。将来的には、地元の長野県で開業することを考えています。地域医療と連携して、これまでお世話になった人、心身に苦痛を感じておられる方に、最良の鍼灸医療を提供したいと考えております。残りの大学生活は、「社会人になったらできないことをやる」をモットーに、興味のわいた事には何でもチャレンジしていきたいと思っています。

鍼灸学部 4年生(長野県箕輪町出身) 勝野 光太郎くん

## いざ実践現場&amp;自分の学びを深める

アスリートのケアを通じて実践的な治療家をめざす「トレーナー部」が昨年度から発足いたしました。平素の活動拠点は、体育館に併設されたコンディショニングルーム内ですが、対外的な活動も積極的に行っております。今回は、そのトレーナー部における「2016年度近畿トライアル選手権(第4戦)」での活動について紹介いたします。

## トレーナー部スポーツケア活動

## 2016年度 近畿トライアル選手権(第4戦)

6月19日(日)、亀岡トライアルランドにてモトクロスバイクによる選手権「2016年度 近畿トライアル選手権(第4戦)」が開催されました。トレーナー部に所属する学生(4年生1名、2年生1名、1年生4名の計6名)と教員が参加し、スポーツケアブースの運営に携わりました。少し経験をつんだ上級生が、下級生の指導を行いながら実習を進めました。この実習は、本学、看護学部の戸田一男 准教授の紹介で実現しました。戸田先生ご自身も、この競技の現役選手で、傷害の競技特性について学生に教授されていました。



実習に参加したトレーナー部メンバーと顧問の松元隆司先生(右端)



亀岡トライアルランド



トレーナー活動ブース



ブース内、実習風景

## Interview /



こんにちは! 保健医療学部2年の榎上達栄です。トレーナー部では学年に関係なく、こういった対外的活動にも積極的に参加しています。また、ただ座学で勉強しているだけだと、積み上げた知識がどこにつながっていくのかイメージしづらいです。しかし、このようなトレーナー部やアスリートサポートセンターでの実習活動をしていると、なにが現場で必要とされているのかが見えてきます。より勉強に身が入り楽しくなります。それはこの部活ならではの強みだと思います。これからの活動が楽しみです。

トレーナー部 保健医療学部2年生 榎上 達栄くん

平成28年度

# 看護学部 大学生活トピックス集!!



### 親睦会

各学年で開催している親睦会の様子です。学生達が主体となってテーマを決めて開催するのですが、今年も「焼き肉」を開催する学年が多くありました。皆さんで食べる焼き肉の味は格別でした!



### 交流会・運動会

本学のグラウンドで開催した交流会・運動会です。学生だけでなく教員も参加して、交流を図りました。学生同士の交流だけでなく、教員の教壇に立つ以外の一面を見たことは学生達にとって嬉しかったようです。



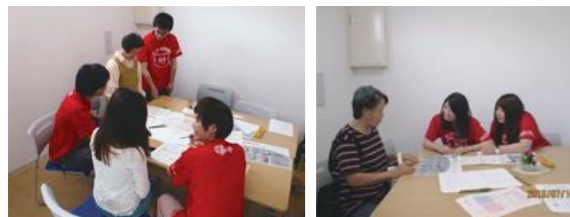
### 国試対策室

4年生の国試対策室(10号館8階)です。周りからの誘惑から離れて、静かに自己学習できる部屋として学生達が活用しています。また、教員が今年度の傾向を予想して作成した必修問題300問を学生達は熱意をもって取り組んでくれました。一年次に決めた「みんな揃って国師合格」のクラス目標の実現のため、学生も教員も力を合わせて頑張ります。



## 「まちの保健室」オープン!!

2016年7月15日オープニングセレモニー時に開設された「まちの保健室」で、保健師コース学生による相談が実施されました。



地域の人が健康に対して関心が高いことが分かり、看護職が地域の人々に求められていると実感しました。(猪彩香)

住民の皆さんの健康意識が高いと感じた。そんな住民の方々のニーズにあった「まちの保健室」にしてい、高齢社会に貢献できたら考えた。(田中祐紀)

# 学内専用SNSはじまりました

Facebook、Twitter、LINE・・・これらは一般的にSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)と呼ばれます。SNSを使うと、家族や友人にメッセージや写真を送ることができます。すでに多くの方にとって身近なアプリとなっており、人と人のつながりを促すインターネットサービスとして定着しました。大学でも、クラスやサークルの友人との連絡や、ゼミの活動などにSNSが利用されています。

一方、TwitterやFacebookで大学生が気軽につぶやいた内容が大きな問題に発展し、社会的責任を追求される例が報道されています。軽率なつぶやきが基となり、停学や退学を余儀なくされる例が後を絶たないのです。



スマートフォン上でメニュー画面講義ごとにグループが作られています。



「学生の皆さんが安心安全に友人とつながり、教育にも役立つSNS」があればいいな・・・そんな発想から生まれたのが学内専用クラスSNS「melly」です。スマートフォンやPCで操作できる特徴はそのままに、教育向けに特化させました。コミュニケーションのグループは講義ごとに作られ、講義を担当する教員と学生が1つのグループに属します。たとえば、講義中に質問できなかった部分を1人の学生がmellyにつぶやきます。それに対して、他の学生や教員が返答します。そのやりとりを、講義を受ける学生全員が共有します。

SNSとしては変哲のないやりとりですが、教育効果は絶大です。「その部分、私も分からなかった。先生に聞きたかったけれど、質問するチャンスを逃した。」という学生の方々のニーズを満たすことができます。学生と教員のやりとりが活発となり、教育の質の向上が期待されます。今後、mellyを国家試験対策に活かす予定です。国試の勉強時に生じた疑問は速やかに解消したいけれど、周囲に尋ねる人がいない。そんな時に受験生と教員を繋ぐ教育サポートとして、SNS「melly」を使って参ります。

